



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル：CASBEE大阪みらい（新築） I使用評価ソフト：「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称) 北区同心一丁目PJ 新築工事	
建設地	北区同心1丁目	
建物用途	共同住宅(自転車駐車場付)	
建築主		
設計者		
竣工年	2028年12月 予定	
構造/階数	RC造 / 地上15階	
敷地面積	854.43 m ²	
建築面積	360.07 m ²	
延床面積	4248.75 m ²	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

A ★★★★★★

BEE = 1.7

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

環境品質 G

環境負荷 L

BEE=1.0

3.0 1.5 0.5

100 50 0

0 50 100

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

★★★★★

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

標準計算

□建設 □修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト

①参照値 100%

②建築物の取組み 79%

③上記+②以外のオンサイト手法 79%

④上記+オフサイト手法 79%

0 50 100 (kg-CO₂eqe/年・m²)

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境 (敷地内)

LR3 敷地外環境

LR2 資源・マテリアル

LR1 エネルギー

5 4 3 2 1

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

項目	スコア
音環境	2.9
温熱環境	4.0
光・視環境	3.3
空気質環境	3.7
平均スコア	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

項目	スコア
機能性	3.7
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	3.0
平均スコア	3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

項目	スコア
生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0
平均スコア	2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

項目	スコア
建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	2.0
設備システム効率化	4.7
効率的運用	3.0
平均スコア	4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

項目	スコア
水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	3.6
汚染物質回避	3.3
平均スコア	3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

項目	スコア
地球温暖化への配慮	3.8
地域環境への配慮	2.9
周辺環境への配慮	3.1
平均スコア	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし。		その他 特になし。
Q1 室内環境 専有部は自然光を十分取り込めるよう計画し、自然エネルギーの活用により環境負荷の低減を図るとともに、快適な室内環境の確保に努めた。	Q2 サービス性能 維持管理に配慮した設計、耐用年数の長い配管材料を採用するなど耐用性、信頼性に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 外皮性能の向上を図るとともに、LED照明を採用し、エネルギー消費の低減に務めている。	LR2 資源・マテリアル 省資源化に配慮し、リサイクル材を採用したほか、断熱材にはODPが低いものを使用した。	LR3 敷地外環境 敷地内には可能な限り緑地を設けたほか、敷地入口付近に樹木を計画することで、周囲に溶け込む建物となるように配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.7

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.8
配慮事項	ホールライフカーボン排出率＝79%	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級6相当以上	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.7
配慮事項	BEI＝0.57	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分(品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	等級6以上(相当)	-
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.57	-